

(抄訳)

## AIGはニューヨーク連邦準備銀行の リボルビング・クレジット・ファシリティからの借入残高を約40億ドル削減

ILFCによる貸付金返済が、NY連銀に対する負債について  
AIGのキャッシュでの一括削減額としては最大額の返済の原資に

ニューヨーク発 2010年8月23日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク(以下「AIG」)は、インターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーション(以下「ILFC」)から受領した約40億ドルを、ニューヨーク連邦準備銀行(以下「NY連銀」)のリボルビング・クレジット・ファシリティ(以下「融資枠」)の返済に充てました。これにより未払いの複利利息および手数料を含まないAIGの借入残高は、150億ドルをやや上回る水準にまで削減されます。

39.5億ドルの返済は、AIGの融資枠に対するキャッシュでの一括返済額としては最大額であり、また昨年12月にAIAグループ・リミテッド(以下「AIA」)とアメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニー(以下、「アリコ」)のそれぞれの特別目的会社(SPV)を設置し、AIAとアリコに関する優先持分と引き換えに、融資枠の借入残高を250億ドル削減した以降では最大額の削減となります。

今回の返済により、NY連銀のAIGに対する融資枠の上限も、約340億ドルから約300億ドルに削減されます。

AIGの社長兼CEOであるロバート・H・ベンモシェは次のようにコメントしました。

「これは、AIGの米国納税者に対する返済の進展を示す、継続して目に見える成果です。AIGは日に日に強固になっています。まだ残された課題は多くありますが、課題をやりとげ、確実に米国納税者に返済していきます。」

またベンモシェは、AIGとその傘下の事業における昨年来の進展についても次のようにコメントしました。

「ILFCはこのたび、資金調達の安定化と、ILFCのバランスシートの強化をさらに進展させたことを示しました。アリコの売却は完了に向けて進行中であり、AIAの新規株式公開に向けても入念に準備を進めています。」

「AIGの保険事業は利益を確保できるようになり、顧客の継続率も安定し、解約率は通常の水準にまで改善しました。私たちにはトンネルの先にある光が見え始めました。」

今回の返済により、AIGの融資枠に対する借入残高及び利子の合計額は約210億ドルとなります。AIGは今回の返済により、前払い委託資産の前倒し償却が一段と進むと予測しており、それにより税引き前で約6.5億ドルの費用が計上されることとなります。